

社団法人 日本空手協会

内閣総理大臣杯および文部科学大臣賞を授与される空手界唯一の団体です

● JKA ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-23-15

TEL : 03-5800-3091

FAX : 03-5800-3100

ホームページ / <http://www.jka.or.jp/>

御挨拶

就任にあたり、会員の皆様方に一言御挨拶を申し上げます。

本年から首席師範を拝することになりましたが、前・杉浦初久二首席師範の基

本理念を継承し、指導に当たる所信です。

さて、人間淘汰を成し遂げるという努力目標を掲げました。

また、富名腰最高師範は1929年に「空」の意義として、「空手は徒手空拳を以て、身を護り、敵を防ぐ術である。空手を学ぶ者は、明鏡の物を映すが如く、空谷の声を伝うが如く、我意邪念を去り、常に内に謙虚心を養い、外に温和の態度を忘れ



社団法人 日本空手協会
首席師範 植木政明

1922 (大正11) 年5月、故・富名腰義珍 (1868~1957) 最高師範が、文部省主催による第一回体育展覧会 (お茶の水・教育博物館) にて、初めて「唐手」を紹介しました。

それ以来、空手技術の原理を通じて、「空手道」の体系を確立し、その練習を通

てはならぬ。空手は一功武術の根本である」と述べており、指導理念としています。

日本における空手の歴史は約90年を迎えようとしています。

現在の試合形式が昭和32年に導入されて以来、半世紀以上が経過し、全世界で盛んに行われています。

我々はこの50年間、日夜鍛錬し、研究を重ね、今日の空手道を築き上げてまいりました。

形・組手・また突き・打・受・立ち方……どれを取っても、理論的にも、技術的にも、欠点の少ないものであると確信しています。

空手の本質が「極」であり、最大限の衝撃力を、自らの意思力によって、発揮し、相手の急所へと極める。そのためには、正しいフォームが必要であり、正しいフォームを作り上げるためには、高いバランス、安定性が求められます。

身体を持つ運動量を短時間に集中できるように、稽古を通して、鍛錬する必要があります。

空手の指導理論および技能、技術は飛躍的に発展していますが、今一度原点に戻り、「極」を科学的・理論的に探究する必要があるのではないかと思っています。

私自身のこれから5年間の目標は、根に戻ることです。

会員の皆様にも、空手協会の理念のもと、基本・組手・形の一体化が必要であり、形においても、正しい基本技が基にあることを忘れないで欲しいと思います。

現代社会の世相を考えた場合、物質文明が想像以上に発展し、不自由のない社会に成熟していますが、精神的にはモラルの低下が見られ、温故知新の気風を必要としているのではないかと感じることがあります。

空手道による人間形成を重視、育成する場合、「知育」「徳育」「体育」三位一体の教育が必要条件であり、その中で礼儀を重んずる態度が醸成されると確信しています。

これからも、日本空手協会が「空手の原点」を見つめ、正しい路を歩んでいくよう、自らを律し、一身を投げ出し、首席師範の職責を果たす覚悟です。

会員の皆様並びに関係者各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

大会特報

第53回全国空手道選手権大会

会場●東京体育館
主催●社団法人日本空手協会

形は栗原一晃が連覇(4回目) 大島望が2年ぶり3回目の優勝! 組手は男女とも初優勝! 根本敬介(指定)、田邊梨加子(直轄団体)

去る6月26、27日、東京体育館において、社団法人日本空手協会主催の第53回全国空手道選手権大会が開催され、二日間に渡り、一本勝負の熱き戦いが繰り広げられることとなった。

男子個人組手

根本敬介と志水亮介が決勝へ

114名が参加した個人戦男子組手。
注目は、連覇を狙う猪越悠介(指定)。初戦で第51、52回3位の岡田泰典(茨木)を再

延長の末、引き込み上段突きで退ける。
しかし、「調子は今ひとつ」と語った通り、ベスト16でリチャード・ヘセルトン(直轄団体)

体)に上段突きを連続で極められ、敗退。
前大会王者を破り、勢いに乗ったリチャードは、準々決勝で藤井康弘(青森)に足払いから上段突きを極め、一本勝。準決勝進出を決めた。
リチャードを準決勝で待ち受けていたのは、根本敬介(総本部)。
準々決勝は、栗原一晃(総本部)に対し、



上/男子組手決勝戦、根本敬介が同じ年齢(1980年生)である志水亮介に足払いからの上段突きを極め、一本。



右/リチャード・ヘセルトン(直轄団体)が猪越悠介(指定)の連覇を阻む。



準々決勝、前試合で上段廻し蹴りを開始5秒で極めた栗原一晃(写真右)と根本が対戦。

糸田が会場を沸かせる

逆突きで技有りを奪い、初の準決勝進出を決めた。

反対側のブロックでは、大隈広一郎(本部)



上/絶妙な間合いで相手を封じ込める熟練の匠・尾方弘二(指定・写真左)

左/絶妙な間合いで相手を封じ込めてきた尾方弘二(指定)の間隙を見逃さず、上段突きを極めた糸田が準決勝へ。

右/今野慶貴(指定)に上段突きを極める燃える男・大隈広一郎(本部推薦)。





上／準決勝、糸田の素早い踏み込みを見切り、上段突きを極めた志水（写真左）が4度目の決勝の舞台へ。



決勝で勝敗を決めた突き。試合後、根本は「正直ここまで来られるとは…」と安堵の表情を浮かべた。

志水、雪辱を果たし、決勝へ

準決勝第一試合は、リチャード・ヘルトンVS根本敬介。

試合開始早々、根本がリチャードの左上段突きに合わせて、右中段逆突きを極めて、技有り。リチャードがその後、体格を活かして、攻撃を仕掛けるが、根本に決定打を与えることができず、根本が決勝へ。

対戦相手は、第49、51回大会の王者・志水亮介（指定）。志水が中段突きで先制すると、大隈も負けじと中段蹴りで技有りを奪い返す。しかし、最後は志水の中段突きが大隈に突き刺さり、勝負有り。

志水の準決勝の相手は、昨年2位の糸田力（指定）。ベスト16で忠鉢孝治（本部推薦）を退けると、準々決勝では第46、48回で優勝した尾方弘二（指定）の一瞬の隙を切り裂いて、上段突きを叩き込み、一本勝ちした。

同世代対決を根本が制す！

準決勝の第二試合は、志水亮介VS糸田力。昨年、糸田に破れた志水が上段突きで先制すると、糸田のスピード溢れる上段突きに對し、引き込みながら上段突きを極め、二年ぶりとなる決勝の舞台へ。



右／準決勝、台風の目となったリチャード（写真左）の猛攻を凌ぎきった根本が決勝へ。

決勝（5分間三本勝負）は、根本と志水が対戦。

試合開始早々、根本が「狙っていた」という足払いで志水を一回転させると、上段突きを極め、一本。

さらに上段突きの相打ちを制し、技有りを奪って、あと技有り一つで優勝となった。

しかし、日本代表として、世界の強豪と戦ってきた志水が反撃の狼煙を上げた。

後ろ蹴りからの裏拳、上段突きを連続で極め、技有りを連取。

勝敗が決したのは、試合開始4分50秒後。両者の上段突きが相打ちとなり、審判団が審議へ。ここで志水の突きが技有りととなれば、両者の差はなくなり、勝負の行方は分からなくなる。

審判団は審議の結果、根本の上段突きがわずかに勝っていたと判断。この瞬間、「今年優勝しなければ、協会を去る気概で臨んだ」というという根本の初優勝が決まった。

試合後、「一戦一戦、集中した結果の積み重ねが優勝へと繋がった。今まで支え続けてくれた皆様に感謝したいと思います」と語った。

『心を満たす旅』創り

株式会社 **トラベル日本**

＜観光庁長官登録旅行業第67号／IATA公認代理店／JR各社指定業者＞

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-2-1 ラクチョウビル5F

TEL : (03) 3572-1461 FAX : (03) 3573-7733

ホームページ : <http://www.travelnippon.co.jp>

担当 : 三浦 e-mail : h.miura@travelnippon.co.jp

女子組手

田邊梨加子、巨大トロフィーを獲得！



決勝戦は、大正大2年の田邊梨加子（直轄団体／写真左）と本部研修生1年の椎名舞（本部推薦）が対戦。先取りによる再々試合の末、田邊が優勝の栄冠に輝いた。

あの大きなトロフィーを…

大本命は、四年連続5回目の優勝を狙う奥家沙都美（指定）。

順当にトーナメントを勝ち上がり、準決勝へと進出。今大会も決勝へと難なく進むと思われたが、大正大2年の田邊梨加子（直轄団体）が立ち塞がった。

「朝、内閣総理大臣杯を見て、自分も大きなトロフィーを手してみたい」と思ったという田邊は、3回戦で前回3位の塚田めぐみ（指定）を撃破すると、4回戦では早川陽菜（関東地区）に返しの左突き、飛び込んだ連突きで立て続けに技有りを奪い、準決勝に勝ち上がった。

その田邊と奥家の一戦は、「自分から行く」と思っていたという田邊が上段突きを極め、先制。その後も田邊のキレのある上段突きは牙え渡り、試合の主導権を渡さない。最後は連突きで飛び込んで二つ目の技有りを奪い、合わせ一本勝ちした田邊が決勝進出を決めた。

本部研修生が決勝へ

もう一方のブロックからは、前回準優勝の高橋優子（指定）が、4回戦で駒澤大3年の



上／4連覇を狙った奥家沙都美（指定／写真左）は準決勝で田邊梨加子（直轄団体）に負け、は惜しくもベスト4。



右／椎名舞（本部推薦／写真右）と高橋優子（指定）の準決勝は、延長再試合の末、飛び込んだ高橋を上段突きで迎え撃った椎名が技有りを奪い、合わせ一本勝ちとなった。

飯島希（茨木）を下して準決勝へ。

対戦相手は、今年4月から本部研修生になった椎名舞（本部推薦）。

椎名と高橋の準決勝は、高橋が跳び込み上段突きで技有りを先制。しかし、終盤に椎名も上段突きで技有りを奪い、本戦終了。

延長再試合でも先制したのは上段突きを極めた高橋だったが、椎名も刻み突き→中段突きで技有りを取り返すと、今度は高橋に合合いの上段突きを極め、合わせ一本。逆転勝利で椎名が、決勝へと駒を進めた。

勝負は先取りへ

どちらが勝っても、初優勝となる田邊と椎名の決勝戦。

「初対戦だが、待ちの選手で、返しを狙ってくることは知っていた。最初の一本目をどうやって届かせようかを考えていたが、入れなかった」という田邊の言葉どおり、序盤から



2位の丸岡直人（神奈川）。牡鎮、42.0



3位の斎藤祐樹（指定）。雲手、41.9。



男子個人形を制した栗原一晃（指定）の牡鎮、42.8。

男子個人形

栗原一晃、盤石の連覇（4回目）

順位決定戦に残った8名は、徳野真規（指定）、斎藤祐樹（指定）、吉田将大（指定）、産方弘二（指定）、丸岡直人（神奈川）、福原

互いに決め手を欠き、本戦2分間は終了。延長再試合も互いに上段突きで技有りを奪うが、そのまま引き分け。先取りの再々試合へと突入した。

先に仕掛けたのは、右上段突きで飛び込んだ田邊。これに椎名も左上段突きを返したが、両者ともに有効打にはならない。

両者の対決は、椎名（舞）がプレッシャーを強めて前に出たところへ「今日は前拳の当たりがよかった」という田邊の右上段突きが極まり、技有り。この瞬間に田邊の初優勝が決定した。



準優勝の深作世里乃（本部推薦）。五十四歩小、41.9。「大島先輩に比べるとまだまだ技の正確さが足りない」（深作）



女子形で3位入賞となったウォーターハウス美希（指定）。五十四歩小、41.7〜42.0。



上／女子形で2年ぶり3回目の優勝を果たした大島望（指定）は岩鶴（42.6）を演武。ただ一人42点台を記録した。

大島望、王座に振り返り咲く！

前回王者・城田貴樹（指定）が欠場し、観衆の目は自然と前々回王者の大島望（指定）へ。

順位決定戦（8名）で7番目に登場した大

女子形

秀樹（指定）、寺島寿（群馬）、栗原一晃（指定）。
大本命は、最後に演武した栗原一晃（指定）。力とスピードを兼ね備えた重厚な壮鎮で、42・8。二番目に登場した昨年準優勝の斉藤祐樹（指定）の雲手（41・9）、5番目に演武した丸岡直人（神奈川）の壮鎮で（42・0）を抑え、二年連続4回目の優勝を成し遂げた。試合後「昨日、弟の秀元が高校生個人・団体形で優勝したのが刺激になりました。弟には負けられないし、良きライバルとしてこれからも切磋琢磨していきたいですね」と語った。



団体戦一般形優勝の墨田支部（東京）。雲手で36.8。



団体戦一般形2位の花見川支部（千葉）。五十四歩小で36.5。



組手で勝利した墨田支部。試合後「勝因は三人がまとまっていたこと」と語った。

島は「わずかな足の震えが減点となってしまいう賭けのような形」という岩鶴を演武し、42・6。8番目に五十四歩小を演武した2位の深作世里乃（指定）に0・7という大差をつけ、2年ぶり3回目の優勝。

団体戦一般形&組手

墨田支部が形&組手で連覇記録を伸ばす！

組手の本命は4連覇を目指す墨田支部。「子供たちが見ている前で負けられない」と決勝へと進出。先鋒の重江賞登が負けるも、中堅の真島和也が前日に左手を骨折しながらも勝利。大将の高柳雄路が前日の試合で目を負傷するアクシデントに見舞われるが、気合で勝利。

2勝1敗で二子玉川支部を破り、4連覇を達成した。

形でも3連覇を目指す墨田支部（東京）が盤石の強さを見せた。

前回のA・Bチームから編成されたメンバーが、決勝で雲手を演武。2位の花見川支部（千葉）の五十四歩小に0・3差をつける36・8で優勝。

試合後「目標は前人未踏の5連覇です」と語った。

守礼堂 東京支店

〒164-0001 東京都中野区中野 2-23-4 グリーンフォレスト1F
TEL (03)-5342-3051
FAX (03)-5342-3052
E-mail shureido@viola.ocn.ne.jp

TEL 0120-957-941
FAX 0120-957-942

至新宿 JR 中野駅



極まる形、極まる技

スポンを立体的な新しい形の縫製にしたため、足の動きがより自由になり、変幻自在の動きに対応できる。

NW-3、無縫

450gの軽さで技の高速化

（軽地）オリジナル生地4号半（175cm）のスポンで、450gの軽さを誇る。

無縫

いつも快適な道衣

1. 優しく、柔らかな Cotton の肌触り
2. 汗を素早く吸い、同時に拡散する
3. 洗濯後、シワになりにくく、早く乾く
4. 軽いウエに、縮みが少ない

NW-1〜3、無縫

空手衣の美しさを追求

上着背中の汗取り用布を特殊縫製する事により、発汗時の空手衣のまわりつきを解消し、空手衣の形をきれいに保つ。

NW-3、無縫



守礼堂 本社

〒900-0012 沖縄県那覇市泊 1-1-6
TEL (098)-861-5621 FAX (098)-861-5525
フリーダイヤル TEL 0120-612341 FAX 0120-612342
E-mail shureido@orange.ocn.ne.jp

関西 守礼堂

〒538-0044 大阪府大阪市鶴見区放出東3丁目21-34
TEL (06)-6963-8864 FAX (06)-6963-8863

守礼堂 九州

〒890-0046 鹿児島県鹿児島市西田 2-1-18
TEL・FAX (099)-801-6920
E-mail shureido@sur.bbq.jp

URL www.karatedo.co.jp/shureido

都道府県

**東京、文部科学大臣杯に輝く！
静岡、団体組手で6度目のV！**

都道府県組手の決勝は静岡と東京。先鋒の横山大（静岡）が上段逆突きで一本勝ちすると、続く次鋒戦も清水克彦（静岡）が勝利し、静岡が2連勝。

中堅戦は高柳雄路（東京）が勝利するも、副将戦で横山拓磨（静岡）が優勝を決める3勝目を上げ、静岡の2年ぶり6回目の優勝が決まった。

試合後、静岡県・岩田真人監督は「強化合宿を行い、チームワークを高めてきた。私が現役だった頃に3連覇しているの、それを目指して稽古していきたい」と語った。

なお都道府県形は、雲手を演武した東京が35・7で2年ぶりに王座奪還。組手でも準優勝している東京は、文部科学大臣杯に輝くこととなった。



都道府県組手で静岡が2年ぶり6度目の優勝。「穴のないチーム。登録8名全員を試合に出した」と岩田真人監督。



都道府県形、雲手で2年ぶり11回目の優勝を掴み取った東京。



優勝した国士舘大。



上／大石武士師範曰く「男子は自信を持って送り出せる」という駒澤大が団体戦大学形を制した。



左／女子形で3連覇に輝いた駒澤大は五十四歩小を演武。「男子に比べると仕上がりは悪かったが、間に合った」と駒澤大・大石武士師範。

団体戦・大学組手&形

**組手は、国士舘が競り勝つ！
駒澤大、形で無敵8連覇！**

28チームが参加した組手は、国士舘が準々決勝で青山学院大に5勝、準決勝では京都産業大を4勝1敗で下し、決勝へ。

決勝の相手は、8連覇を狙う駒澤大。国士舘の先鋒・須田芳宏、次鋒・川崎紘輝が連勝し、王手を掛けるが、中堅・副将が連敗し、2勝2敗。

大将戦は国士舘の国吉真太郎（関東学生王者）が1-0から「相手の動きが止まっていたので行きました」というワン・ツーを極めて、一本勝。国士舘の9年振り6回目の優勝を決めた。

団体戦大学・形の本命は、7連覇中の駒澤大。試合前に大石武士師範に尋ねると「今年は男女ともに五十四歩小。昨年の岩鶴に続いて、

初挑戦の形です。形が長いので、最後まで集中できるかが勝負のポイント」という答えが返ってきた。

その駒澤大は、予選を1位通過すると、決勝では五十四歩小で37・0を叩き出し、8年連続35回目の優勝。

2位には、拓殖大の雲手（36・7）、3位には青山学院大の雲手（36・2）が入った。

女子

**組手は、大正大が2連覇！
形は、駒澤大が3連覇！！**

女子組手の決勝は、大正大（直轄団体）VS 学而館道場（千葉）。前回王者の大正大は、先鋒の田邊梨加子（大正大）が勝利するも、続く中堅戦を落とし、1勝1敗。

大将戦は、椎名舞（学而館道場）に技有りを先制されたが、女子主将の石塚明日美（大正大）が上段突きで二つの技有りを連取。大正大を2年連続6回目の優勝に導いた。

女子形は、五十四歩小を演武した駒澤大（直轄団体）が3年連続7度目の優勝に輝いた。準優勝はこちらも3年連続で青山学院大（直轄団体）。3位には宮城県本部（宮城）が続いた。



右／大将戦で決着がついた女子団体組手。椎名舞（学而館道場）に先制されたが、「キャブレナがした」と石塚明日美（大正大／右）が逆転勝利。



高校生王者二人・小池麻琴（前列左から4番目）、長谷花子（前列左から3番目）の所属する浜松開誠館のメンバー。

高校生男子&女子組手

開成館コンピ、文部科学大臣杯！

116名が参加した個人戦高校男子組手。決勝へと進んだのは、小池麻琴（静岡）。中学2年の時に小中学生大会で3位になったことのある空手歴9年の選手だ。

小池は初対戦となる塚中将成（岡山）に対し、上段突きを連続で叩き込み、合わせ一本勝。

試合後「突っ込む気持ちで臨みました。今後も日本一を目指して頑張ります」と語った。

高校生女子組手の決勝戦は、長谷花子（静岡）と牛腸紗耶加（新潟）が対戦。「中学3年間は、形で県大会を3連覇した」という長谷が開始早々に二つの技有りを奪い、優勝。小池、長谷は文部科学大臣杯を受賞した。



上／優勝した福岡県本部。
左／シャープな動きを見せた先鋒の宮崎真乃介（福岡）。



高校生団体組手で優勝した茨城県本部（茨城）。水城高の3人はキレのある燕飛を演武。



高校生女子形優勝、観空大を演武した水城高3年の深谷安里紗（茨城）。



高校生男子形を制した水城高2年・栗原秀元（茨城）の観空大。

団体戦高校生組手

福岡が茨城を下す！

23チームが参加した団体戦高校生組手・決勝は、福岡県本部VS茨城県本部。

橋口優次監督曰く「一回戦から尻上がりに良くなっていった」という福岡県は先鋒・宮崎真乃介が上段突きを連続で極め、合わせ一本勝。

続く中堅の刈野恭史も中段突き、上段突きで合わせ一本勝。大将戦を待たずして、優勝を決めた。

高校生形

栗原秀元、個人&団体形で二冠！！

高校生団体形は、「絶対に負けない気持ちで臨んだ」という名倉亮太を中心とする茨城県本部が演武順一番で登場。「全員の心が一つになり、キレが増した」という燕飛で36・1。最後までこの得点が抜かれることなく、茨城県本部の優勝となった。

高校生男子個人形は、栗原一晃・総本部指

大会結果

◆ 個人戦組手の部

高校生男子

①小池麻琴（静岡）②塚中将成（岡山）

③小林右京（大坂）④阿久津翔伍（茨城）

高校生女子

①長谷花子（静岡）②牛腸紗耶加（新潟）

③増田真子（静岡）、大石紋那（静岡）

一般男子

①根本敬介（本部推薦）②志水亮介（指定）

③桑田力（指定）、リチャード・ヘセルトン（直轄団体）

⑤藤井康弘（青森、栗原一晃（指定）、大隈広一郎（本部推薦）、

尾方弘二（指定）

一般女子

①田邊梨加子（直轄団体）②椎名舞（本部推薦）

③奥家沙都美（指定）、高橋優子（指定）⑤椎名優（千葉）、

早川陽菜（関東地区）、西村わこ（埼玉）、飯島希（茨城）

◆ 個人戦形の部

高校生男子

①栗原秀元（茨城）②伊藤直哉（静岡）③早津陸（埼玉）

高校生女子

①深谷安里紗（茨城）②佐藤久美（茨城）③上杉ユミ（埼玉）

一般男子

①栗原一晃（指定）②丸岡直人（神奈川）③齊藤祐樹（指定）

④徳野真規（指定）⑤吉田将大（指定）⑥産方弘二（指定）

⑦福原秀樹（指定）⑧寺島寿（群馬）

一般女子

①大島望（指定）②深作世里乃（本部推薦）

③ウォーターハウス美希（指定）④奥家沙都美（本部推薦）

⑤須江彩子（宮城）⑥椎名舞（本部推薦）⑦勝岡未来（大阪）

⑧木村麻里江（宮城）

◆ 団体戦組手の部

高校生男子

①福岡県本部 ②茨城県本部 ③山口県鴻城高校

女子

①大正大学 ②学而館道場 ③駒澤大学

大学

①国士館大学 ②駒澤大学 ③京都産業大学

一般

①墨田支部 ②二子玉川支部 ③温海支部

都道府県

①静岡県 ②東京都 ③三重県

◆ 団体戦形の部

高校生男子

①茨城県本部 ②松商学園高等学校 ③浜松開誠館高校

女子

①駒澤大学 ②青山学院大学 ③宮城県本部

大学

①駒澤大学 ②拓殖大学 ③青山学院大学

一般

①墨田支部 ②花見川支部 ③茨田支部

都道府県

①東京都 ②千葉県 ③岐阜県

* 内閣総理大臣杯

根本敬介（一般男子個人戦組手優勝）

* 内閣総理大臣杯

田邊梨加子（一般女子個人戦組手優勝）

* 文部科学大臣杯

東京都（都道府県対抗戦総合優勝）

* 文部科学大臣杯

駒澤大学（大学団体戦総合優勝）

* 文部科学大臣杯

茨城県本部（高校生団体戦総合優勝）

* 文部科学大臣杯

小池麻琴（高校生男子個人戦組手優勝）

* 文部科学大臣杯

長谷花子（高校生女子個人戦組手優勝）

導員の弟である栗原秀元（茨城）が観空大で優勝し、団体形とあわせて二冠に輝いた。試合後、栗原は「身体が細いので燕飛では技が軽く見えてしまふと思った。観空大では技を大きく見せることを心がけて演武した」と語った。

また高校生女子個人形は、観空大を演武した深谷安里紗（茨城）が優勝し、団体、男女個人と形の3タイトルは水城高が独占。試合後、深谷は「観空大はきれいに見せられる。手先まで意識してしっかりと演武できた」と語った。

平成22年度春季関東学生会定期リーグ戦

日時●2010年5月16日(日曜日) 場所●千葉工業大学・芝園キャンパス体育館 主催●(社)日本空手協会関東学生会
協力●(社)日本空手協会・大学OB連合会

団体は男子が駒大、女子は大正大！ 男子個人は兼松(千葉工大)、女子は椎名(拓大)

去る5月16日(日)、千葉工業大学・芝園キャンパス体育館において、平成22年度春季関東学生会定期リーグ戦が開催され、延べ48大学約500名が参加した。



大石武士師範(写真前列左)の指導のもと、男子団体優勝、女子団体準優勝を成し遂げた駒澤大。

今年も男子は駒澤大

6校総当たりで争われる男子1部リーグ戦。「攻防の切り替えができるか否か、それが勝負を分ける」と語る大石武士師範が率いる前大会の覇者・駒澤大が強さを見せ付けた。初戦で千葉工大を2勝1敗(2分)で下すと、2試合目の国士館戦は先鋒の石井詳馬(210)、中堅の上田幸佑(210)、大将の瀧本和馬(211)が勝利して、3勝2敗。続く防大も3勝(2分)で退けると、秋季準優勝の大正大に対しても、先鋒の石井(110)、中堅の添田一希(210)、副将の上田(210)が勝利して、ここまで4戦全勝。最終の拓大戦で1勝1敗の内容差で破れるも、通算成績4勝1敗で連覇を成し遂げた。

大正、駒澤を破る

女子1部リーグ(6校総当たり)の本命もやはり連覇を狙う駒澤女子。しかし、初戦で千葉工大に2勝1敗を退けたが、二試合目で急ブレーキ。大正大の北村愛に2-1、田邊梨加子に2-0、石塚明日美に2-1と三連敗。駒澤大に勝利した大正大は3位に入賞した。



上/4勝1敗で準優勝した拓殖大。



左/駒澤大戦、大将戦で登場し、2-0で勝利した大正大の石塚明日美。



上/存在感を見せ付けた大正大の東世菜。

左/女子3位の国士館大。



国士館戦の中堅で登場し、2-0で勝利した駒大の上田。



女子1部リーグを制した大正大。



上/国士館戦の大将で登場し、2-0で勝利した駒大の瀧本。

開催校の選手が優勝

93名が参加した男子個人組手。

決勝へと進んだのは、開催地である千葉工大3年の兼松僚。1年生の時にこの大会で3位になったことのある選手だ。

準決勝では、気持ちを抑えて、カウンターの徹底し、駒大1年の栗原一嘉に中段突きを2回極めて、勝利した。

決勝の相手は、同期の浮島侑里を退けて、決勝への切符を掴んだ駒大の1年・原田龍（駒大）。闘志を前面に出して、開始早々、攻撃を仕掛けてくる。



準決勝、兼松僚（千葉工業大・写真左）が栗原一嘉（駒澤大）に2-0で勝利。



駒澤大の同期対決と準決勝、原田龍（写真右）VS 浮島侑里。

右・右下/男子個人戦決勝、原田の上段突きに合わせ、兼松の突きが極まり、優勝が決まった。



姉妹で優勝する

65名がエントリーした女子個人戦。

注目はナショナルチームに在籍する東世菜（大正大）。団体戦でも要所で輝きを見せた東は、個人戦でも実力をいかんなく発揮し、準決勝へ。

対戦相手は、椎名優（拓大）。東が鋭い突きで先制するが、「初めて対戦する相手で、よく知らなかった」という椎名に上段突きを連続で極めて、逆転負け。

決勝へと進んだ椎名の相手は、青学大の大石亜衣を下して、決勝へと進んだ北村愛（大正大）。

「準決勝の試合を見て、はじめの合図と共に仕掛けてくる選手だと感じた」という椎名は、その言葉通り、よく相手を見て、上段突きを極めて先制。



女子個人組手準決勝は、椎名が、東（大正大）を2-1で下す。



女子個人組手準決勝、大石亜衣（青学大）に上段突きを極める北村愛（大正大）。



女子個人組手決勝、前に出た北村愛（大正大）に上段突きを合わせた椎名優（拓大）が2-1で勝利。

大会結果

◆男子1部リーグ

- ①駒澤大学 ②拓殖大学 ③国士舘大学
④千葉工業大学 ⑤大正大 ⑥防衛大学

◆男子2部リーグ

- ①関東学院大学 ②青山学院大学 ③自治医科大学
④東京経済大学 ⑤東京農獣医大学 ⑥獨協大学

◆男子3部リーグ

- ①亜細亜大学 ②小山高専 ③首都大学東京
④電機大学1部

◆男子個人戦

- ①千葉工業大学 兼松 僚 ②駒沢大学 原田 龍
③駒沢大学 栗原一嘉 ④駒沢大学 浮島侑里
⑤大正大 菊池亮太 ⑥関東学院大学 加藤大貴
⑦亜細亜大学 大金勇太郎 ⑧千葉工業大学 大澤 努

◆女子1部リーグ

- ①大正大 ②駒澤大学 ③国士舘大学
④拓殖大学 ⑤青山学院大学 ⑥防衛大学

◆女子2部リーグ

- ①千葉工業大学 ②東京女子体育大学
③自治医科大学 ④国際医療福祉大学

◆女子個人戦

- ①拓殖大学 椎名 優 ②大正大 北村 愛
③青山学院大学 大石亜衣 ④大正大 梨本みさき
⑤青山学院大学 洞澤葉月美 ⑥大正大 岩田怜亜
⑦駒沢大学 梶井美歩 ⑧国士舘大学 黒田千景

◆優秀選手

- 男子 駒沢大学 石井詳馬 拓殖大学 佐々木光人
国士舘大学 須田芳広
女子 大正大 吉田亜沙美 駒沢大学 押鐘優美
国士舘大学 黒田千景

◆入れ替え戦

男子1部、2部入れ替え戦

- 赤 大正大-青山学院大学 白×
○赤 防衛大学-関東学院大学 白×

男子2部、3部入れ替え戦

- 赤 日大農獣医大学-小山高専 白×
○赤 獨協大学-亜細亜大学 白×

女子入れ替え戦

- 赤 青山学院大学-東京女子体育大学 白×
○赤 防衛大学-千葉工業大学 白×

男女入れ替えなし

男子2部全勝優勝の関東学院大。



その後、北村に上段突きを極められるも焦ることなく、相手の攻撃を引き込みながら上段突きを極めて、2-1と勝利。
1年前の大会では、姉・椎名舞（JKA研修生）が優勝しており、姉妹で連続Vとなった。

男子2・3&女子2部

男子2部リーグ戦（6校総当たり）は、4試合目で秋季優勝の青学大と2位の関学大が対戦（共にこの時点で1勝）。

先鋒を制したのは関学大。鶴岡知将が2-1で勝つと、副将の飯塚惇平、大将の高波大輔が中段突きを極めて、3勝2敗で青学大を退けた。

その後も1年生を試しながら、三位に入った自治医科大学を5-0で下すなど、全勝で優勝した。

男子3部リーグ（14校）のトーナメント決勝は、Aブロック1位通過の亜細亜大とDブロック1位通過の小山工専が対戦。2勝2敗となった大将戦で亜細亜大の竜門泰史が2-0で勝利し、接戦を制した。

なお、リーグ終了後、入れ替え戦が行われたが、全ての部において入れ替えはなかった。

決勝では、二人しか部員がいなかったため、負けたら終わりの千葉工大が気合い溢れる組手を展開。

「根本敬介監督から練習通り、思いきり行けと言われた」と語った先鋒の小網中優が上段突きを連続で極めて勝利すると、中堅の海保千佳も中・上段突きで2-0と勝利し、優勝を決めた。



東女体大を2勝1敗で退け、女子2部優勝の千葉工大。



海保千佳（千葉工大）の上段突き。

子供たちが作る！
レポートする！

JKA ニュース キッズ編集部！



(社) 空手協会は、品格ある青少年育成に努めています。

★組手のチャンピオンにインタビュー①★

6月26～27日に行われた内閣総理大臣杯第35回全国空手道選手権大会の大人の組手種目で根本敬介・総本部指導員が初優勝しました。

根本指導員はどんな人なののでしょうか？

ふじみ野支部の遠藤成将(小2)君と関口颯太(小2)君が頑張って、インタビューしました！



優勝するとこんなに大きなカップがもらえます！

第53回全国大会の組手優勝した！ 根本敬介・総本部指導員の巻



遠藤成将(小2)

Q

いつから空手を始めたんですか？

4歳頃だよ。千葉で生まれたんだけど、家が道場だったので、自然と道着を着ていました。兄妹が5人いるのですが、6人とも空手をやっていました。両親もやっているの、空手家族ですね。



関口颯太(小2)

Q

どうすれば、空手が上手くなるのですか？

実は私も子供の頃は上手くありませんでした。大人になっても、なかなか1番になれず、悔しい思いをしてきました。

でも、あきらめずにコツコツと道場に通い、練習した結果、優勝することができました。

まさに継続は力なりですね！

Q

得意技はなんですか？
蹴りは苦手なんですか？

出合いの逆突きですね。思い切り飛び込むことを心がけています。

あとは追い突きかな…。この間の全国大会では、足払いも使いました。

蹴りに関しては、秘密兵器なので、減多に出しません(笑)。

Q

何時間練習して、何時間寝るんですか？

いつも総本部で3時間練習した後、千葉工業大学などで3時間練習しています。

指導もあるので、自分の練習ばかりはできませんが、毎日目標を立てて、自分を甘やかさないように全力で稽古しています。

いつも午前1時くらいに寝て、朝7時くらいに起きるので、6時間くらい寝ます。



全国大会の決勝の様子。相手は2度の優勝を誇る志水亮介選手でした。

Q

これからの目標を教えてください。

来年、東南アジアに位置するタイで世界大会が開かれます。

みんなの見本になるような正しい極めのある空手で勝つので、皆さん応援して下さいね！

Q

いつ結婚したのですか？

今から約4年前の26歳の4月です。高校時代の空手部の同級生と結婚しました。

今回の大会は妻・文、子供達(一平、琴葉)のためにも頑張ろうと思いました。

Q

好きな食べ物とテレビ番組はなんですか？

好きな食べ物はお肉ですね。焼肉だと何人前でも食べられます。

テレビ番組は、スポーツをよく見ます。この間のサッカー・ワールドカップも眠いなあと思いながら、朝まで見ていました。

★組手のチャンピオンにインタビュー②★



1994年にアメリカ・フィラデルフィアで開催された第5回松濤杯決勝の写真。

JKA松濤杯で初の外国人王者輝く！ パブロ・プロトパバ(南アフリカ)さん

平成6年にアメリカのフィラデルフィアで行われた第5回松濤杯で初の外国人王者となったパブロ・プロトパバさん(南アフリカ)に、ふじみ野支部の小川敦也(小2)君と深渡瀬敬久(小2)君がお話を聞いてみたよ！



深渡瀬敬久(小2)



小川敦也(小2)



空手が大好きで研究熱心なパブロ・プロトパバさん！

Q 大会に参加したのはいつですか？

入門してから1年後の9歳です。でも、勝ったり、負けたりを繰り返していました。

南アフリカの国内王者(組手)になったのは1988年、22歳の頃。それから8年連続で優勝しました。

それから1992年に東京で開催された第4回松濤杯にも出ました。団体組手のメンバーとして3位になりました。

Q 空手を始めたキッカケは？

ブルース・リーの映画だよ。どうしても格闘技が始めたくなくて、映画のスタントマンだったエド・カネメイヤー先生の道場へと通い始めたんだ。8歳の時だよ。

Q 王者となって変わったことは？

周りの人の態度は変わったかも知れませんが、私に変わりはありません。

空手に対する情熱や、練習に取り組む姿勢は空手を始めた子供の頃と同じです。

また、私には10歳の双子(男)、7歳、4歳(共に男)、2歳(女)の子供がいて、上から3人はすでに空手を始めております。彼らと共に汗を流すことが、今の私の最大の喜びです。

これからも、今後も空手を通じて、次の世代を担う子どもたちに思いやりや行動力、協調性、前向きに生きていく力などを与えていきたいと思います。

Q 決勝戦の相手は？

ベルギーのムロロ・ジャネットという背の高い選手です。長い手足を武器に決勝まで勝ち上がってきました。

先手を取ったのは、ムロロ選手で「はじめ！」の号令と同時に中段廻し蹴りが入りました。

私は焦りましたが、心を落ち着かせて、「はじめ！」の号令と共に飛び出し、追い突きで取り返しました。

その後に3~4回攻撃を仕掛けると、ムロロ選手の動きが悪くなっていました。

私は絶対にチャンスを逃してはならないと攻め続け、中段廻し蹴り、上段追い突きで技有りを奪い、優勝できました。

Q 1994年にアメリカ・フィラデルフィアで開催された第5回松濤杯について教えてください。

心に残っているのは、ベスト16で当たった尊敬する中達也師範との試合です。

逆突きを極め、判定勝ちを収めることができました。

また準決勝で当たった椎名勝利師範は当時120キロ近く体重があり、とても強かったです。

私は技を封じられないよう動き回り、わずかに生まれた隙を見逃さず、逆突きを二回極めて、決勝への切符を掴みました。



SHOBU
KARATE WEAR & GOODS

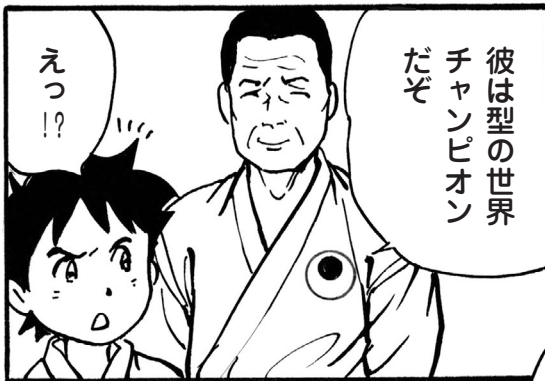
スーパーキャンパス SBC
日本空手協会試合用マット取扱店

初段から四段の段位証専用額新発売

http://www.karatedo.co.jp/shobu
E-mail: shobu@sage.ocn.ne.jp

TEL.0553-23-5320
FAX.0553-23-5340

〒405-0018 山梨県山梨市上神内川996-2 空手衣の尚武



会得した真理を実践する空手道

諦を悟る

※諦し真理・まこと

第三回 花の命・人の命・人の姿正

桜と空手道

今年も桜花の季節と共に私たちの空手の大会が始まりました。

私は、真に偉大だった先生・先輩・後輩の人たちのことをいつも考えます。

社団法人日本空手協会の名の下に命をかけて闘った人たちのことを。

心の底に熱き熱情の炎を燃やして闘い、その後に彼らは名譽を示す生き生きとした風を残しました。

私は試合に臨むとき、一年間、私の血と汗の努力を知っている空手衣と黒帯を枕元に畳んで置いて眠り、そして空手衣と黒帯を持って大会会場に向かう時、自分の心に感

また、試合会場に向かう時、自分の心に感



第53回全国大会で主審を務める筆者。

じることを大切にし、心に刻んでいました。

選手を引退し、審判員となつてからは選手の時に、感じたことを大切にして審判に臨んでいます。

今年も桜は眼に見えない所で開花の準備をして、美しく咲き誇りました。

染色の重要無形文化財保持者の志村ふくみさんが、「一色一生」という本の中に桜のことを書いています。

折々粉雪の舞う三月の小倉山の麓ふもとで桜の枝を切っている老人と出会い、枝をいただいて帰り、早速煮出して染めてみようとほんのりした樺桜のような桜色が染まりました。その後、たまたま九月の台風の時、滋賀県の方で桜の大木を切るからと聞き、喜び勇んで出かけ、いただいてきて煮出してみると、その時の桜は三月の桜と違って桜色に染まりませんでした。

その時、はじめて知ったのです。

桜が花を咲かすために樹全体に宿している命のことを。

桜は一年の中で樹全体の中にその時期の来るのを待ちながらじっと蓄えていた花の命を、惜しげもなく、自然に発散して開花する。

その桜の命、桜の精が桜の樹木の中から、百花繚乱の華麗な姿に変幻する。

その桜の花こそ、桜の精そのものの真実の姿です。

志村さんの友人が桜の花弁ばかり集めて染

森俊博(もり・としひろ)プロフィール

昭和25年、宮城県亘理町出身。昭和48年東北学院大学(経済学部)卒業。第4回全空連全日本空手道選手権大会優勝(昭和50年)。第21回JKA全国大会(昭和53年)、第23回大会優勝(昭和55年)。第3回IAKF世界空手道選手権優勝(昭和55年)。師範、総本部理事、国際理事、政策委員。

めてみたそうですが、それは灰色がかった薄緑だったそうです。

命も花の精も既に虚空に消え去って、もぬけの空になりはてていたのです。

植物には周期があつて、機を逸(いつ)すれば色は出ないのです。花と共に精気は飛び去ってしまい、あざやかな真紅や紫、黄金色の花も、花そのものでは染まりませんと志村さんは言っています。

空手の大会に出場する選手も桜の花や他の植物と同じ様に、大会で勝つために一年を通して勝つための工夫をし、血と汗の稽古を積み重ねて出場します。

一年間の血と汗の努力を蓄え、その蓄えた選手の命の花を咲かそうと全身全霊で試合を行い、人間の気迫のある華麗な花を咲かせます。選手にも華麗に咲く時期があります。その機を逸することのない様に審判員はその選手の気迫と技を観て、緊張感を持って一年一度の試合を公正に真剣に審判することが審判員として最も大切なことです。

それが審判として選手に対する人としての姿正ではないでしょうか。

今年の(社)日本空手協会の第53回内閣総理大臣杯争奪全日本空手道選手権大会は、「極め」の一本勝負試合、一本勝負の醍醐味と力強い技の美しさに溢れ、感動したすばらしい大会でした。選手の皆様と審判員の皆様の健闘を心から讃えたいと思います。



TOKAIDO

(ショップ移転しました) 東京都文京区本郷1-4-11 岡野ビル1F(都営三田線「水道橋駅」徒歩1分 JR総武 / 中央線「水道橋駅」徒歩3分)
Tel.03-5840-8030 平日▶AM11:00~PM8:00 / 土日祝▶AM10:00~PM7:00

株式会社東海堂 〒113-0033 東京都文京区本郷1-15-2 第一三沢ビル3F ※商品・カタログのお問合せは▶TEL.03-5844-3451 / FAX.03-5844-3452

海外便り

世界で頑張る仲間たち！

秋の合宿

From
JKA
ルウェー

去る2009年
11月22～29日、毎
年行われる秋合宿
がベルゲンをはじ
めとする複数の場
所で開催され、6

57人が参加しました。この合宿はヨーロッパで最も大きな合宿の1つに数えられ、JKAベルギーの澤田和弘師範、JKAイングランドの太田欣信師範に加え、日本の総本部から尾方弘二（六段）、大隈広一郎（五段）両師範が訪れました。

そのために、尽力して下さったJKAノルウェーのチーフインストラクター・ゲール・ラーシェン先生（六段）とシャイレ先生（五段）に会員は深く感謝しております。

合宿は4日間、学生のトレーニングは午前、大人の部は午後に行われました。

通常のトレーニングに加えて、澤田、太田両師範、尾方、大隈両師範の特別指導が平行して行われました。

土曜日には尾方、大隈両師範による素晴らしい演武が行われ、その後にノルウェーJKAが組手と型の演武を行いました。

夜には、晩餐会が開催され、美味しい料理



様々なクラブをまわり、親睦を深めました！



尾方・大隈両師範の演武

に舌鼓を打ちながら、4人の師範と親交を深めました。

また4人には、錫でできた海賊デザインのマグが贈られました。

日曜日には試験があり、約450名がそれぞれのベストを尽くしました。

その後、ノルウェーの東側にあるクラブへと場所を変え、3日間の指導を行いました。そこには200人以上の参加者が集まりました。最終日には昇級昇段試験を行いました。

翌日には、今度は西海岸へと移動し、2日間の指導を行いました。美しいホテルに滞在し、尾方、大隈両師範が大好きな釣りで勝負しました。

さらに我々が毎年サマーキャンプを開催する小さな島にも行きました（インストラクターを務めるのはノルウェーJKAのトップです）。

そこでも弟子達に指導を行い、さらにノルウェーの大自然を存分に味わいました。こうして3週間の日程が終わったわけですが、一週間くらいに感じられるほど時は瞬く間に過ぎ去りました。

また尾方、大隈両師範の指導は、全ての参加者に満足感を与えました。その証拠に参加者の多くから、感謝の言葉が寄せられました。このような機会を与えてくれた総本部に感謝

の意を表明すると同時に、ノルウェーと日本がさらなる良い関係を築いていくことを心から望んでいます。

（報告/JKAノルウェー、ゲール・ラーシェン

From
JKA
パキスタンパキスタンで行われた！
JKAトレーニングセミナー

去る2010年1月19～22日、JKAパキスタンは、日本領事館の協力を得て、カラチ日本国総領事館広報文化センターにおいて、トレーニングセミナーを行いました。

指導に当たった椎名勝利先生（七段）は、型の世界王者であり、JKA本部の企画部長を務める尊敬すべき先生です。

椎名先生は、1日2回（朝・夕）2時間のクラスを持ち、4日間で8回のトレーニングを行いました。75名が参加したのですが、朝は大人、夕方は青帯以上とレベル別に分けられました。

椎名先生が持つ空手の知識とバラエティに富んだ指導法、的確な指示は知ら

上/パキスタンにおける商業・金融の中心地で行われたセミナーに参加した皆さん。

左/椎名師範の指導はとて4日間、日を追うごとに参加者に畏敬の念が芽生えていった。



ずのうちに我々の中で結びつき、参加者の心にさらなる向上心を植え付けました。

また、基本の練習では腰の重要性を説き、全ての技術は全身の力を用いて行うという概念が完全に理解されるまで、多くのドリルをこなしました。

基本一本、自由一本と自由組手では、カウンター突き・蹴りやブロックについて学びました。椎名先生が見せてくれた組手の足の動きは、非常に高度で緻密でした。

形の練習では、基本となる平安の形と選定形であるジオン、カンクー大、バツサイ大、エンピを行いました。椎名先生はそれぞれのポイント、分析を交えながら指導し、さらに鉄騎初段についても、詳細な説明をしてくださいました。

最終日のトレーニングで、セミナー卒業証書が参加者に与えられたのですが、満足感を覚えると同時に、椎名先生に強い感謝の念を覚えました。

この場を借りて、セミナーを開催するにあたり、尽力して頂いた磯村利和領事、文化センターの石川氏にも感謝します

（報告/JKAパキスタン、フセイン・アリ）

From
JKA
インド第27回JKAインド
ナショナルトレーニング
キャンプ開催！

去る2010年1月28日から2月2日、リゾート地としても有名なインド・ゴア州に

おいて、第27回JKAインドナショナルトレーニングキャンプを開催しました。

期間中に、昇段や資格審査を含む試験やセミナー、全インドJKAトーナメントが行われることとなりました。

このキャンプのために日本（JKA本部）から、井村武憲先生が訪れました。インドへは4回目の訪問であり、熱帯の気候にいち早く順応していました。

JKAインドでは井村先生の人気は高く、今回も247人のメンバーが、トレーニングキャンプへの参加を希望しました。

1月28日の合宿初日の稽古では、基本を通

井村先生は、正しい姿勢、フォームで行うことを井村先生は繰り返し強調しました。その他にも手刀打ち、背刀打ちなどの開手技も練習し、半身、正面、逆半身で行うよう指導されました。次は、蹴りのレッスンです。前蹴り、廻し蹴り、後ろ蹴りなどを数百回蹴った後、それを進化させ、いかに応用させるかを二人組となつて学びました。

1月29日(2日目)のトレーニングは、参加者に井村先生の新たな一面を感じさせるものでした。大部分の人々が井村先生が型の世界王者であることを知っていました。井村先生においても、素晴らしい能力と深い知識を持っていることを知りました。

自由一本と自由組手の練習に移ったとき、我々はこの点に気づいたのです。井村先生は、間合いや足運びの誤りを指摘し、目標に対して、集中する方法を教えてくださいました。

ここまでの練習は、白帯から四段までのレベルに関係なく行われていましたが、この後、井村先生から高段者限定でソウチンを学びました。これは以前にリクエストしていたことであり、その後に教えられたソウチン立ちで、基本を行いました。



JKAインドの中心人物と大隈師範。



子供に大人気の大隈師範。

合宿最終日である1月30日の前半は、細かな部分まで説明が行き届いたバスサイ大、ジオンとジッテの指導が行われました。型の後は初日に行った組手トレーニングに参加者全員で行い、間合い、目標、タイミング、残心の強調などの確認を行いました。午後には技術資格取得セミナーは開催され、昇段と資格審査が続きました。多くの者が参加したため、ジュニアと子供のグループを担当していたアナン・ラトナ先生が井村先生をサポートしました。

From JKA インド

JKAインド合宿

驚きを与えてくれました。

日本空手協会の奥深い技術で、「私もできるのでは？」と初心者に錯覚させるくらい簡単な言葉と動きだけで、参加者全員を理解

去る2010年2月8日、インド・ムンバイで行われたJKAインドの合宿にて、総本部から訪れた大隈広一郎先生が、私たちに新鮮な

また第27回全インドJKAトーナメントは、2010年1月31日に始まり、2月2日に終わりました。3日間のイベントには432人のメンバーが参加しました。

トーナメントの結果の詳細は、JKA IWEブサイト <http://www.jkaindia.org/Oss> の上で確認して下さい。

(報告) JKAインド、アナン・ラトナ



4回目の訪問となったインド。

加したため、ジュニアと子供のグループを担当していたアナン・ラトナ先生が井村先生をサポートしました。こうして3日間の情熱に満ちた井村師範の指導は終わりました。最後のトレーニングが終わったとき、参加者全員が喜びに満ちあふれ、また純粋なJKAの空手を学び、さらにはインドJKAの絆を深める親密な関係を築いたことを知りました。

させ、満足感を与えてくれたからです。初日は、腰の回転についての指導から始まりました。腰に関しては合宿を通じて、ポイントとなった部分です。自然体から半月立ち、前屈立ちを行ったのですが、技術の移り変わりやスタンスに応じて、重心を移動させ、収縮と伸張を活かす方法を学びました。またテクニクを実践している間は、地面を掴むように強く立ち続けることなどの注意を受けました。

2日目は平安の形と分解です。もちろん、前日の腰の回転や収縮と伸張を活かすことが前提です。鉄馬初段の重要な部分である波返しにも多くの時間が費やされ、移動に関する重心移動や両足の使い方との関係について理解を深めました。

3日目は、最初の30分復習を行った後、自由組手のスピードを磨くトレーニングを行いました。それが終わると、二人組となって整列し、刻み突きや追い突きを行いました。組手のリズムや足捌き、フエイントや相手を誘うための技術を磨きました。

午後からの昇級昇段試験では、10人がそれぞれのクラスで良い結果を残すことができました。Tapan DeKai氏は二段、Abhishek Patil氏は三段となりました。3日間という短い時間でしたが、優しく、そして厳しく指導して下さいました大隈先生から我々は5つのことを学びました。

- ① 姿勢を真っ直ぐ
- ② 動いているときも正中線を守る
- ③ 体の収縮
- ④ 正しい腰の使い方
- ⑤ 空手道精神

最後になりますが、大隈先生を送って頂いた総本部にも感謝の意を表明します。また来年大隈先生とお会いすること、そして日本とインドの良い関係がこれからも続くことを心から望んでおります。

(報告) JKAインド、Milan Trivedi



鋭意制作中!

中達也のベスト空手2

武道空手身体操作奥伝「中達也・極意」

— 相手が反応しにくい技と、その運用 —

■商品番号: DCMP-222 (DVD) ■収録時間: カラー 50分 (予定) ■6,000円 (税込) → 先行予約価格: 5,000円 (税込) にて申込み受付中!

商品のお問合せ・ご注文はこちらまで

TEL: 03-3315-3190 FAX: 03-3312-8207

受付時間 AM9:30 ~ PM18:30
定休日 日曜日、祝日

CHAMP
(株)チャンプ 営業部

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-19-3 総和第二ビル2階

<http://www.champ-shop.com/>



「形は不安定からセンスを創り
修練は心の安定を造る。」



(報告／半崎靖雄、中達也、根本敬介)

JKA寒稽古開催！

去る平成22年1月25～31日、毎年恒例の寒稽古が開催された。

稽古時間は、午前7時から8時。イギリス、アメリカ、フランス、ドイツ、シンガ



寒稽古に参加した皆さん。



「昔はがんばれと言われたが、最近は無理しないで声を掛けられる。皆が想ってくれていることがうれしい」と語る皆勤50年の関根光雄さん（写真左から3番目）。

精勤50年／関根光雄、皆勤31年／榎本末子、皆勤12年／猪俣和男、皆勤7年／Richards Raymundo、皆勤6年／山本哲夫、皆勤5年／佐々木潔・田中浩平、皆勤4年／青柳琢・安藤武男・Tony Cronk・Martin Dobson・Frank Pitt、Nathan Quigley、皆勤3年／石井克己・渡邊まり子、皆勤2年／Peter Zimmatore、佐藤允子、Steve、布施木智之、皆勤1年／イザベル、マシアス ブリッタスノード、David Paulus、Daniel Walsh、Shahinaz pelter、David Oarrington、Sidra Shah、細野喜久、宮前繁、ペトロニオ、長原、Vinicius Aguiar

ポールからの参加者も含めて、約150人が参加しました。

皆勤50年となる関根光雄さんは50年を振り返って、「あつという間でした。辛くはなかったが、年齢を重ねるにつれて稽古に來ても居づらい感じになりました、しかし、指導員みんなが声を掛けてくれたり、暖かく迎えてくれたりしたので毎年通うことができました。今年で77歳になりますが、稽古を着て道場に立てることが幸せ。普通なら邪魔扱いされると思うが若い人達と友情を持つことができ、通うことが楽しい。今後、皆が迎えてくれる限り、空手は続けられます」と語りました。

その後、料理が得意な尾方弘二師範お手製のカレー、おでん、もつ煮込み、チーズクラッカーが振る舞われ、



神社まで走ります！

JKA師範会稽古行われる

去る平成22年2月20日（土）、全国で活躍される師範会委員を対象とした稽古会が総本部道場に於いて実施された。

稽古には43名が参加し、植木首席師範の指導により、選定形の慈恩の稽古が重点的に行われた。

まずは各挙動の細部にわたる説明と質疑応答があり、その実技を何度も身に付くまで繰り返し、その間に、先生は「技のつなぎ」についての大切さを説き、「緩急」について具体的な指導と稽古が行われた。

洗練された気迫のこもった指導に、師範会員は空手家の手本となる姿勢で全員が真剣に稽古に取り組み、技術の研鑽に汗を流した。稽古後は懇親会が開かれた。

山田小百合研修生、卒業式

去る平成22年3月3日（水）、総本部道場にて、山田小百合研修生の卒業式が行われた。山田研修生は新潟の高校を卒業後し上京。専修大学経済学部に入學と同時に空手協会兼任研修生として入所した。



ニコニコ微笑む山田研修生。



五十四歩小の演武。

研修生と大学生の文武両道の両立。その苦労は大変なものだったと思われるが、周囲にはそんなことを微塵も感じさせず、3年間の研修期間を優秀な成績で終えた。

卒業式では、得意形の五十四歩小を演武。植木首席師範から激励と前途を祝した言葉が送られた。

続いて大坂副首席師範より卒業証書が授与された。

緊張の様子だった山田研修生も、指導員代表として栗原指導員から花束が贈呈されたときには笑みがこぼれ、皆から拍手喝采で祝福された。

若干21歳、今後の活躍に期待したい。



師範会稽古に参加した皆さん。



選定形の慈恩の稽古。



6段以上の皆さん。



2～3段以上の皆さん。



4～5段以上の皆さん。

空手協会最大の人数が集まる！ 春季国内外全国合同合宿

去る4月16日(木)～19日(日)、総本部道場において、春季国内外全国合同合宿が開催され、国内から約300名、海外から約150名参加した。

この合宿の目的は、世界および全国都道府県会員の技術の統一を目的としており、内容を大きく分けると次の3つ。

①技術講習会 ②昇段審査(四段以上) ③資格審査(指導・審判A～B以上、審査A～C以上)。式段以上ならば、参加資格がある。

メニューは午前・午後に講習会が一回ずつ行われ(計7回)、平行して、昇段審査・資格審査が行われた。

また17日には、全国および世界会員相互の親睦をはかるパーティが行われ、大いに盛り上がった。

翌日に行われた午前中の練習では、①ストレッチ(20分) ②基本(15分) ③組手(30分) ④型/五十四歩大・二十四歩が行われ、午後12時に閉会式を終えた。

JKA研修生入所式

平成22年度研修生入所式が4月1日(木)(社)日本空手協会総本部にて行われた。

今年入所した研修生は上田大介(青山学院)、椎名舞(拓殖大学)の二名。入所式では辞令後、研修生による気迫のこもった形の演武が行われた。

今後の活躍が期待される研修生の略歴は次の通り。

① 上田大介(うえた・だいすけ)



1986年6月19日生・福岡県出身。青山学院卒。主な戦績は関東学生組手ベスト8、形2位。

Q 入所の理由は?

憧れの先生方のような空手をしたという目標があったからです。

Q 入所試験は?

自分の力のなさを痛感させられ、一から頑張ろうと思いました。

Q 今後の目標は?

② 椎名舞(しいな・まい)



1987年2月23日生/千葉県出身。拓殖大学卒。主な戦績は、第50回内閣総理大臣杯全国大会組手3位、関東学生3位、関東体重別優勝。

Q 入所の理由は?

知識も技術も本物の空手を学び、もっと強くなりたいと思ったからです。

Q 入所試験は?

緊張したし、覚悟をしました。

Q 今後の目標は?

形も組手も優賞できる様な選手になりたいです。

Q 読者へのメッセージは?

研修生として、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



型の講習会の練習風景。



特別審査権に合格した皆さん。

空手用品総合メーカー JKAマーク入りグッズ多数取り扱い中!

<http://www.tokyodo-in.co.jp>

株式会社 東京堂インターナショナル

東京堂 空手 検索
(カタログ無料送付中)



フット ZERO
AT-0
価格例: 4号 ¥17,430
AT-1を超えたニュータイプの空手衣
更なる軽量化を実現!

まだまだ進化し続ける
東京堂インターナショナルの空手衣

その他グッズも
ネットショップで
好評発売中!

☎0120-35-2997 九州支社 〒890-0016 鹿児島県鹿児島市新照院町1-19
〒111-0052 東京都台東区柳橋1-10-9
TEL: 03-3866-2997 FAX: 03-3864-9645
✉: info@tokyodo-in.co.jp

TEL: 099-255-8471 FAX: 099-255-1547
☎0120-219-170 (九州支社リダイヤル)
✉: kyusyu@tokyodo-in.co.jp

※(株)東京守礼堂インターナショナルは平成19年4月に(株)東京堂インターナショナルへと社名変更させて頂きました



【日本空手協会指定ラベル】
お付け致します!

男子・世田谷学園＆女子・御殿場西、激戦を制す!!

日時●2010年2月6日、7日 会場●BUMB東京スポーツ文化館 主催●社団法人日本空手協会総本部

去る2月6～7日、BUMB東京スポーツ文化館において、高校生合同稽古会では同総本部指導員による講習が行われ、二日目の交流試合には全国の強豪校が多数参加した。

初日の合同稽古会では同総本部指導員による講習が行われ、二日目の交流試合には全国の強豪校が多数参加した。

第4回高校生合同稽古会兼交流試合

上／対戦スコア2-2で迎えた男子決勝の大將戦、高崎隆至（世田谷学園／右）が引き込むような上段突きでポイントを連取し、5-1で勝利。この瞬間、世田谷学園の優勝が決定。

交流試合参加校（順不同）

世田谷学園（東京）、御殿場西（静岡）、東洋大学附属牛久（茨城）、拓殖大学紅陵（千葉）、宮崎第一（宮崎）、岐阜商業（岐阜）、栄北（埼玉）、浜松開誠館（静岡）、花咲徳栄（埼玉）、目黒学院（東京）、敬愛学園（千葉）、横浜創学館（神奈川）、常葉学園菊川（静岡）、麗澤（千葉）、錦城（東京）、松商学園（長野）、松本第一（長野）、日本大学鶴ヶ丘（東京）、少年工学校（神奈川）、日本大学明誠（山梨）、秋田工業（秋田）、青森北（青森）、星城（愛知）、埼玉栄（埼玉）、高崎経済大学附属（群馬）、山梨学院（山梨）、東京都市大学塩尻（長野）、作新学園（栃木）、関東第一（東京）



男子で優勝の栄冠に輝いた世田谷学園（東京）。関東センバツに続く優勝。



男子で準優勝となった宮崎第一（宮崎）。



女子で準優勝となった常葉学園菊川（静岡）。



女子で優勝の栄冠に輝いた御殿場西（静岡）。「金子悠里がチームをよくまとめてくれている」と細谷真人監督。



上／男子決勝の先鋒戦は、上段蹴りを極めた中村建太（宮崎第一）が4-3で逆転勝利。



二日目の交流試合には全国から29の強豪校が参加。



高校生を指導する中達也師範。



表彰式で高校生たちの健闘を称える大坂可治師範（左）、中達也師範（中）、谷山卓也師範（右）。



男子4位・横浜創学館A（神奈川）



男子3位入賞・御殿場西（静岡）



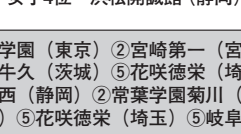
男子5位・東洋大学附属牛久（茨城）



男子5位・花咲徳栄（埼玉）



男子5位・高崎経済大学附属（群馬）



女子4位・浜松開誠館（静岡）

- RESULT**
- ▲男子 ①世田谷学園（東京）②宮崎第一（宮崎）③御殿場西（静岡）④横浜創学館A（神奈川）⑤横浜創学館B（神奈川）
⑥東洋大学附属牛久（茨城）⑦花咲徳栄（埼玉）⑧高崎経済大学附属（群馬）⑨常葉学園菊川（静岡）⑩東京都市大学塩尻（長野）
▲女子 ①御殿場西（静岡）②常葉学園菊川（静岡）③東洋大学附属牛久（茨城）④浜松開誠館（静岡）⑤横浜創学館（神奈川）
⑥青森北（青森）⑦花咲徳栄（埼玉）⑧岐阜商業（岐阜）⑨宮崎第一（宮崎）

●指導員が直接指導

一日目（2月6日）に行われた合同稽古会には、約1000名の高校生が参加。

形（観空小、壮鎮）は谷山卓也師範と志水亮介指導員、男子組手は猪越悠介指導員と忠鉢考治指導員、女子組手は高橋優子指導員と山田小百合研修生がそれぞれ担当。

また二日目（7日）の交流試合には、北は青森（青森北）から南は宮崎（宮崎第一）まで、29校の強豪校がエントリー。春の全国センバツを控え、交流試合とはいえ充実した戦いが繰り広げられた。

なお交流試合は団体組手で争われ、男子5リーグ、女子3リーグに分かれて予選となるリーグ戦が行われ、その上位校による決勝トーナメントで雌雄を決する。

男子の決勝は、世田谷学園（東京）と宮崎第一（宮崎）が対戦。先鋒戦は、中村建太（宮崎第一）が終盤に上段蹴りで逆転し、まずは宮崎第一が先手をとる。

しかし、次鋒戦で鳴島由貴（世田谷学園）が取り返すと、中堅戦も小原健太郎（世田谷学園）が鋭い飛び込み上段突きで勝利し、2連勝した世田谷学園が王手をかける。

宮崎第一も副将の森暁斗（宮崎第一）が勝利して大將戦につないだが、その大將戦では高崎隆至（世田谷学園）が引き込むような上段突きでポイントを連取。対戦スコア3-2で勝利した世田谷学園が関東センバツに続き、優勝の栄冠に輝いた。

女子は常葉学園菊川（静岡）との静岡決戦を制した御殿場西（静岡）が優勝。男子でも3位入賞した御殿場西・細谷真人監督は「1月の桃太郎杯では男女ともにベスト8どまり。その悔しさを忘れず練習してきたことがこの結果につながった。今後もウチらしい元気で明るく積極的な空手を貫きたい」と語った。

- 小学5年生男子 ①渡邊龍翔 (静岡・沼津) ②鈴木健介 (静岡・御殿場西) ③山本 隼 (静岡・榛原)・高橋邦之 (静岡・沼津)
- 小学5年生女子 ①高橋可愛 (静岡・沼津) ②瀧本真悠 (静岡・青南)
- 小学6年生男子 ①橋本有矢 (三重・久居松阪) ②日浦 丈 (三重・熊野阿田和) ③小野日向 (静岡・駿河)・大原一真 (静岡・榛原)
- 小学6年生女子 ①彦坂美羽 (静岡・浜北) ②石田莉佳子 (三重・四日市南)
- 小学3年生男子 ①宮下勇人 (静岡・沼津) ②大谷純平 (静岡・静岡城西) ③木田直希 (岐阜・郡上)・飯田恵也 (静岡・細江)
- 中学1年生女子 ①福澤真央 (静岡・浜松開誠) ②高橋侑希 (静岡・静岡北高) ③浦上聖加 (静岡・富士学校) 曾我くるみ (静岡・細江)
- 中学2年生男子 ①掃詰閑士 (三重・尾鷲) ②大道健太 (三重・久居松阪) ③松浦宏樹 (静岡・富士宮)・飯塚雄真 (静岡・青南)
- 中学2年生女子 ①村松恋菜 (静岡・浜松開誠) ②伊澤まどか (静岡・浜北) ③伊藤優衣 (三重・四日市南)・石丸友梨 (静岡・西伊豆)
- 小学3年生男子 ①山下倭也 (三重・四日市南) ②一戸爽駿 (三重・四日市川越) ③白井大地 (静岡・沼津)・山本勇輔 (静岡・沼津)
- 中学3年生女子 ①加藤胡桃 (静岡・浜松開誠) ②福沢真央 (静岡・浜松開誠) ③紅林明星 (静岡・青南)・永野椎渚 (静岡・藤枝中央)
- 高校生男子 ①山本智哉 (静岡・御殿場西) ②大沢侑矢 (静岡・駿河) ③小池麻琴 (静岡・浜松開誠)・一杉祐斗 (静岡・沼津)
- 高校生女子 ①大石紋都 (静岡・浜松開誠) ②伊藤玲奈 (三重・四日市南) ③鈴木佐衣子 (静岡・浜松開誠)・増田真子 (静岡・青南)
- 一般男子 ①清水克彦 (静岡・阿久根) ②横山拓真 (静岡・駿河) ③花松了光 (愛知・愛知学院本校)・島羽智史 (静岡・浜松中央)
- 一般女子 ①原田彩未 (愛知・愛知学院本校) ②二村智代 (愛知・愛知学院本校) ③長谷紗矢香 (静岡・浜松)・藤原里帆 (愛知・愛知学院本校)

形

- 小学校低学年男女 ①筋田沙季 (岐阜・郡上) ②滝川 翔 (愛知・名古屋中川) ③小林諄也 (愛知・岡崎)
- 小学3年生男子 ①前畑 州 (三重・三雲) ②高村 晴 (三重・白山) ③鈴木恵悟 (静岡・藤枝中央)
- 小学3年生女子 ①山本麻紀呂 (静岡・沼津) ②中倉馨多 (静岡・修善寺) ③大塚悠菜 (静岡・竜洋)
- 小学4年生男子 ①江崎 龍 (岐阜・岐阜) ②佐藤友昭 (岐阜・岐阜) ③山中健生 (愛知・名古屋中川)
- 小学4年生女子 ①根上真緒 (静岡・御殿場西) ②大川 涼 (愛知・名古屋中川) ③畑中愛琳 (三重・四日市南)
- 小学5年生男子 ①鳥居直也 (愛知・名古屋中川) ②高橋邦之 (静岡・沼津) ③赤平雄一 (静岡・御殿場西)
- 小学5年生女子 ①金武紗耶 (岐阜・郡上) ②大竹杏美 (岐阜・郡上) ③瀧本真悠 (静岡・阿久根)
- 小学6年生男子 ①鈴木崇玄 (静岡・伊東) ②日浦 丈 (三重・熊野阿田和) ③杉山大和 (静岡・御殿場西)
- 小学6年生女子 ①瀬戸望都 (岐阜・笠松) ②佐藤星来 (静岡・西伊豆) ③一杉菜々子 (静岡・沼津)
- 中学1年生男子 ①橋本明典 (三重・尾鷲) ②木田直希 (岐阜・郡上) ③世古幸輝 (三重・尾鷲)
- 中学1年生女子 ①松本あすか (愛知・名古屋中川) ②上地葉月 (三重・紀南) ③畑中咲莉衣 (三重・四日市南)
- 中学2年生男子 ①水口大成 (岐阜・郡上) ②掃詰閑士 (三重・尾鷲) ④山田大空 (三重・熊野)
- 中学2年生女子 ①高橋ひなの (岐阜・郡上) ②石丸友梨 (静岡・西伊豆) ③伊藤優衣 (三重・四日市南)
- 中学3年生男子 ①水谷一翔 (三重・四日市南) ②山下倭也 (三重・四日市南) ③白井大地 (静岡・沼津)
- 中学3年生女子 ①山田香蓮 (三重・熊野) ②稲津希望 (静岡・細江) ③加藤真珠子 (岐阜・関)
- 高校生男子 ①鈴木雄斗 (静岡・浜北) ②伊藤直哉 (静岡・浜松開誠) ③渡辺拓巳 (静岡・御殿場西)
- 高校生女子 ①長谷花子 (静岡・浜松開誠) ②大石紋都 (静岡・浜松開誠) ③伊藤玲奈 (三重・四日市南)
- 一般男子 ①今 壮志 (岐阜・北方) ②横山拓磨 (静岡・駿河) ③安藤郁真 (岐阜・加納高校)
- 一般女子 ①稲 樹理 (静岡・小山) ②滝川ひろ美 (愛知・名古屋中川) ③藤原由梨 (愛知・愛知学院本校)

第4回東海地区大学・高等専門学校对抗空手道選手権大会
平成22年6月13日 浜松市浜北総合体育館

組手の部

- 男子団体 ①愛知学院大学B ②静岡大学B ③愛知学院大学A
④愛知学院大学歯学部A
- 女子団体 ①愛知学院大学A ②三重大学 ③愛知学院大学B
④愛知学院大学歯学部A

形の部

- 男子団体 ①愛知学院大学A ②愛知学院大学B ③静岡大学A
- 女子団体 ①愛知学院大学B ②愛知学院大学A ③静岡大学A

- 小学生5・6年生男子 ①大塚康平 (足利西) ②佐藤大揮 (宇都宮) ③鈴木峻真 (小山) ⑤石内奨生 (足利西)・細井翔太 (宇都宮)・周東伸也 (足利西)・岡山悠斗 (小山)・笹沼雅恵 (小山)
- 小学生5・6年生女子 ①米良寿々乃 (宇都宮) ②後藤実久 (西那須野) ③金久保多恵 (西那須野) ⑤米良美々乃 (宇都宮)・田代菜々伽 (大田原)・茂呂田美音 (足利)・川原亜直 (高根沢)・細井里菜 (宇都宮)
- 小学生5・6年(自由一本組手) ①佐藤省吾 (黒羽) ②金井春 (足利) ③吉本あゆみ (宇都宮) ④伊藤綾 (宇都宮)・熊崎堅也 (那須)・小林巧弥 (大田原)・小倉佳奈 (県本部)・大野陽平 (大田原)
- 中学生男子 ①安達修平 (宇都宮) ②佐藤流太 (宇都宮) ③瀧澤俊介 (足利) ⑤千葉隼介 (宇都宮)・若竹慶則 (小山)・川島健司 (足利)・大田迪広 (小山)・近藤祥太 (足利)
- 中学生女子 ①高木瑞季 (黒羽) ②後藤優依 (西那須野) ③伊藤茜 (西那須野) ⑤田村歩 (西那須野)
- 高校生男子 ①小倉弘大 (真岡) ②吉澤鳳優 (小山高専) ③堀田直哉 (那須) ⑤安達純平 (宇都宮)
- 一般男子 ①菊地祥宏 (足工大OB) ②石森亮太 (国際福祉大) ③橋本泰志 (足工大OB) ⑤田辺陽祐 (自治医大)・藤田剛士 (帝京大)・箕輪豪太 (小山高専)・青田英一 (大田原)・岡田忠雄 (高根沢)
- 一般女子 ①町田千尧 (宇都宮) ②吉澤翠和乃 (小山高専) ③滝澤歩 (作新) ⑤江連理奈 (作新)・石崎未沙 (国際福祉大)・岩田真央 (小山)・鳥羽昭子 (足利西)・中澤英里 (自治医大)
- 一般団体 ①自治医科大A ②自治医科大B ③国際医療福祉大

形

- 小学生1・2年 ①六本木武琉 (宇都宮) ②近藤祐樹 (足利西) ③田村涉馬 (宇都宮) ④米良幸々乃 (宇都宮) ⑤大野陽平 (大田原) ⑥福田光成太 (真岡) ⑦神長陸斗 (西那須野) ⑧山海璃 (黒磯)
- 小学生3・4年生男子 ①大塚祥平 (足利西) ②米良裕一郎 (宇都宮) ③周東樹生 (足利西) ④富田龍弥 (西那須野) ⑤柳木達哉 (宇都宮) ⑥前原輝 (足利) ⑦綱川舜弥 (高根沢) ⑧堀田翔平 (宇都宮)
- 小学生3・4年生女子 ①岸美聡 (小山) ②恩田芽衣 (栃木) ③立澤史穂 (足利西) ④黒田史音 (黒羽) ⑤君島美折 (西那須野) ⑥田村歩生 (宇都宮) ⑦法橋惟 (県本部) ⑧篠原宇宙 (栃木)
- 小学生5・6年生男子 ①鈴木峻真 (小山) ②大塚康平 (足利西) ③益子耀 (大田原) ④瀬古龍生 (那須) ⑤井翔太 (宇都宮) ⑥高久美 (さくら) ⑦石内奨己 (足利西) ⑧藤大揮 (宇都宮)
- 小学生5・6年生女子 ①米良寿々乃 (宇都宮) ②後藤実久 (西那須野) ③金久保多恵 (西那須野) ④米良美々乃 (西那須野) ⑤川原亜直 (高根沢) ⑥細井里菜 (宇都宮) ⑦茂呂田美音 (足利) ⑧亀田芽美 (宇都宮)
- 中学生男子 ①安達修平 (宇都宮) ②櫻村啓司 (足利) ③瀧澤俊介 (足利) ④佐藤流太 (宇都宮) ⑤川島健司 (足利) ⑥千葉隼介 (宇都宮) ⑦大平健吾 (黒磯) ⑧須永王康 (宇都宮)
- 中学生女子 ①高木瑞季 (黒羽) ②岡部真依 (宇都宮) ③後藤優依 (西那須野) ④田村歩 (西那須野) ⑤田村涼 (西那須野) ⑥薄井悠 (高根沢) ⑦増田美紀 (足利西) ⑧伊藤茜 (西那須野)
- 高校生男子 ①安達純平 (宇都宮) ②小倉弘大 (真岡) ③松田祥和 (高根沢) ④吉澤鳳優 (小山高専) ⑤堀田直哉 (真岡) ⑥熊倉諒 (小山高専) ⑦大阿久善仁 (小山高専) ⑧田崎恭平 (真岡)
- 一般男子 ①菊地祥宏 (足工大OB) ②箕輪優太 (小山高専) ③宮前繁 (陵空塾) ④後藤久幸 (西那須野) ⑤江藤宏幸 (自治医大) ⑥田辺陽祐 (自治医大) ⑦山中陽介 (自治医大) ⑧橋本泰志 (足工大OB)
- 一般女子 ①岩田真央 (小山) ②町田千尧 (宇都宮) ③高木菜々 (黒羽) ④杉野あきほ (作新) ⑤中澤英里 (自治医大) ⑥鳥羽昭子 (足利西) ⑦石崎美沙 (国際福祉大) ⑧武藤彩香 (国際福祉大)
- 小学生低学年団体 ①宇都宮支部A ②足利西 ③宇都宮支部B
- 小学生高学年団体 ①宇都宮支部A ②足利西 ③宇都宮支部B

対 抗 戦

- 少年支部対抗戦 ①宇都宮 ②足利西 ③黒羽

第53回東海地区空手道選手権大会
平成22年6月13日 浜松市浜北総合体育館

組 手

- 小学校低学年男女 ①橋本成矢 (三重・久居松阪) ②滝川 翔 (愛知・名古屋中川) ③各務真一 (愛知・名古屋中川)・勝又大介 (静岡・御殿場西)
- 小学3年生男子 ①前畑 州 (三重・三雲) ②鈴木恵悟 (静岡・藤枝中央) ③鷺津完汰 (愛知・尾張)・斎藤真嗣 (静岡・修善寺)
- 小学3年生女子 ①中倉馨多 (静岡・修善寺) ②山本麻紀呂 (静岡・沼津) ③右城沙也花 (三重・四日市南)・高田瑠華 (静岡・静岡西奈)
- 小学4年生男子 ①山本湧太 (三重・四日市南) ②岩本雄勢 (三重・熊野阿田和) ③川島伶鈴 (三重・四日市川越)・村田有弥 (静岡・大井川)
- 小学4年生女子 ①大河希名花 (静岡・沼津) ②水谷瑞己 (三重・四日市川越) ③寺尾 海 (静岡・舞阪)・山田百華 (岐阜・岐阜)

第39回兵庫県空手道選手権大会

平成22年4月25日 兵庫県立武道館 主催/社団法人日本空手協会兵庫県本部

形

- 小学1年生以下男女 ①茨木琉之介 (稲美) ②鈴木早香 (稲美)
- ③多田香濃 (神戸中央)・川村杜 (コナミ新長田)
- 小学2年生男女 ①中笠香歩 (神戸中央) ②舩賀陽大 (神戸中央)
- ③福田壮一郎 (神戸中央)・柳社阳 (神戸中央)
- 小学3年生女子 ①大辻菜々美 (稲美) ②安藤菜々子 (筑紫が丘)
- ③足立絆彩 (西脇)
- 小学3年生男子 ①中西駿輔 (稲美) ②茨木颯介 (稲美)
- ③樋口雄輝 (神戸中央)
- 小学4年生女子 ①木下さくら (コナミ東加古川) ②中笠夕希 (神戸中央) ③石津朱美 (稲美)
- 小学4年生男子 ①三尾浩輔 (神戸中央) ②新田琉偉 (神戸中央)
- ③六倉輝拓 (神戸中央)
- 小学5・6年生女子 ①三尾遙 (神戸中央) ②戸田雪菜 (西脇)
- ③神谷祐衣 (コナミ東加古川)
- 小学5年生男子 ①好川和真 (六甲) ②中井隆人 (六甲)
- ③西口拓 (東灘)
- 小学6年生男子 ①木下慎一郎 (コナミ東加古川) ②小泉勇貴 (コナミ東加古川) ③櫻井宣充 (西脇)
- 中学生女子 ①神田麻那 (コナミ東加古川) ②高崎彩 (西脇)
- ③大西里味 (稲美)
- 中学生男子 ①角田俊介 (明石) ②西口遼 (東灘) ③浦野寛太郎 (コナミ東加古川)
- 一般級女子 ①神田早苗 (稲美) ②菅麻友子 (六甲) ③浦野ゆかり (稲美)
- 一般級男子 ①大内秀一 (西脇) ②中川貴志 (六甲) ③木村勇 (神戸学院)
- 一般女子 ①岡崎ゆかり (東灘) ②渡邊照子 (六甲) ③吉澤祐子 (六甲)
- 一般男子 ①小幡直人 (明石) ②川井晋介 (長田) ③廣岡啓二 (西脇)

組 手

- 小学1年生以下男女 ①多田香濃 (神戸中央) ②今富花怜 (神戸中央)
- ③鈴木早香 (稲美)・大田美緒 (神戸中央)
- 小学2年生男女 ①金澤夢愛 (西脇) ②中笠香歩 (神戸中央)
- ③舩賀陽大 (神戸中央)・仙石重 (コナミ新長田)
- 小学3年生女子 ①大辻菜々美 (稲美) ②村木ひなた (筑紫が丘)
- ③足立絆彩 (西脇)・安藤菜々子 (筑紫が丘)
- 小学3年生男子 ①中西駿輔 (稲美) ②高岸優陽 (西脇)
- ③青木峻祐 (神戸中央)・吉田真大 (神戸中央)
- 小学4年生男子 ①石津朱美 (稲美) ②木下さくら (コナミ東加古川) ③中笠夕希 (神戸中央)・多田卯蘭 (神戸中央)
- 小学4年生女子 ①三尾浩輔 (神戸中央) ②新田琉偉 (神戸中央)
- ③六倉輝拓 (神戸中央)・内橋優輝 (西脇)
- 小学5・6年生女子 ①三尾遙 (神戸中央) ②神谷祐衣 (コナミ東加古川) ③高尾希美 (神戸中央)・高崎祥 (西脇)
- 小学5年生男子 ①村上龍之介 (西脇) ②井坂俊介 (西脇)
- ③杉本貴悠 (西脇)・青木嶺児 (神戸中央)
- 小学6年生男子 ①櫻井宣充 (西脇) ②小泉勇貴 (コナミ東加古川) ③藤原充生 (西脇)・木下慎一郎 (コナミ東加古川)
- 中学生女子 ①戸田さくら (西脇) ②神野愛穂 (西脇) ③田野江梨奈 (西脇)・神田麻那 (コナミ東加古川)
- 中学生男子 ①角田俊介 (明石) ②森本隆哉 (明石) ③網代将承 (明石)・西口遼 (西灘)
- 高校生男子 ①櫻井徹大 (西脇) ②正木宏幸 (神戸学院)
- ③長田翔太郎 (神戸学院)・木村勇 (神戸学院)
- 一般級男子 ①小林卓真 (神戸学院) ②奥野宏 (神戸中央)
- ③平島正博 (兵庫県大)・中川貴志 (六甲)
- 一般女子 ①岡崎ゆかり (東灘) ②田浦加代女 (神戸中央)
- ③川西弘子 (明石)・中笠夕希里 (神戸中央)
- 一般男子 ①小幡直人 (明石) ②廣岡啓二 (西脇) ③高木浩 (西宮)・川井晋介 (長田)

第37回栃木県大会

平成22年5月30日 栃木県足利市民体育館

組 手

- 小学生1・2年 ①近藤祐樹 (足利西) ②加藤聖二 (足利西)
- ③鈴木桂 (宇都宮) ⑤六本木武琉 (宇都宮) 田村涉馬 (宇都宮)・一樂周平 (宇都宮)・藤田永心 (栃木)・神長陸斗 (西那須野)
- 小学生3・4年生男子 ①富田龍弥 (西那須野) ②大塚祥平 (足利西)
- ③周東樹生 (足利西) ⑤米良裕一郎 (宇都宮)・福田光耀 (真岡)・柳木達哉 (宇都宮)・鹿野碧生 (小山)・清水敦 (大田原)
- 小学生3・4年生女子 ①黒田史音 (黒羽) ②小笠原果林 (栃木)
- ③岸美聡 (小山) ⑤恩田芽衣 (栃木) ⑦上野沙樹 (真岡)・君島美折 (西那須野)・立澤史穂 (足利西)・阿久津ももこ (真岡)
- 小学生3・4年(自由一本組手) ①堀田翔平 (宇都宮) ②松崎銀斗 (足利) ③篠原宇宙 (栃木) ⑤柴田菜々 (宇都宮)・菱川桃子 (宇都宮)・田村歩生 (宇都宮)・小野秀晃 (高根沢)・吉田大輝 (宇都宮)

空手道に関する商品を

全国ネットでスピード配送致します。

空手衣の
YAMAGA

株式会社 山 雅

〒574-0046 大阪府大東市赤井1-7-4

TEL(072)870-3677・FAX(072)870-3678

URL: http://www.yamaga-karategi.com

E-mail: info@yamaga-karategi.com

行事予定

8月

●29日(日) 定期昇級・昇段審査会 総本部道場

10月

●7日(木)～10日(日)

秋季国内外全国合同合宿総本部道場

●24日(日) 関東学生会定期リーグ戦 未定

11月

●6日(土)

第10回熟練者全国空手選手権大会(予定) 未定

●28日(日) 定期昇段審査会 総本部道場

12月

●3日(金) 研修生入所試験 総本部道場

●22日(水) 総本部道場稽古納め 総本部道場

●23日(木)～1月6日(木) 冬期休暇

昇段者

●七段 半崎靖雄(総本部)、太田欣信(イギリス)、西村和宏(埼玉)、安里正義(神奈川)、郷右近郁夫(宮城)、谷口孝雄(石川)

●六段 尾方弘二(総本部)、鈴木道男(宮城)、甘利澄夫(長野)、百瀬敏昭(長野)、増野耕三(兵庫)、小坂敏博(北海道)、JASON NAYLOR(オーストラリア)、PROTOPAPA PAVLO(南アフリカ)、FERNANDO RIVERA ROMAN(スペイン)、VALLS EUGENIA(アルゼンチン)、梶原勉(三重)、ロメロ・サンチェス(埼玉)、ENNIQUE NAW(ウルグアイ)、CHARLES BECKENSTRATER(南アフリカ)、JAIME AGLIATI(チリ)、O'REGAN BARRY(アイルランド)、NANANG KADRIANSYAH(インドネシア)、山田謙一(北海道)、武藤迪彦(本部)、中島正実(長崎)、MOHAMED TAHA(エジプト)、松原一(高知)、館野公一(茨城)、満田公一郎(石川)、HOGHOOGHI SHAHROKH(カナダ)

●五段 GERGO FRANCO(アルゼンチン)、JOE MUZZI III(アメリカ)、GREEN T WAGGENER III(アメリカ)、KENT WANG(アメリカ)、甘利千賀子(長野)、加藤清春(長野)、本間康博(新潟)、IAN IRVINE FORTESCUE(南アフリカ)、DARRYLL LEIMAN(南アフリカ)、佐竹敏彦(埼玉)、BUZKOVA EVA(チェコ)、REINALDO RODRIGUES(ポルトガル)、小出智(長野)、COSTAS DIAVASTOS(南アフリカ)、JUAN CARMONA LEW-PIN(スペイン)、岡野良夫(茨城)、WEWENGKANG TAMARA(ニューデリー)、江連治(茨城)、片岡敬一(東京)、森保幸治(大分)、GUIZZETTI GIOVANNI(イタリア)、FERRARI GIOVANNI(イタリア)、WEPPLER CHRISTIAN(ドイツ)、TAKACS FRANK(ドイツ)、EHRET ASTRID(ドイツ)、HINSCHBERGER PETRA(ドイツ)、越後谷利則(秋田)

●四段 奥家沙都美(総本部)、志水亮介(総本部)、栗原一晃(総本部)、山岸広樹(長野)、中野学(長野)、上條康明(長野)、DAVIDE BASSI(本部)、早川陽栄(茨城)、GROS JEAN(フランス)、高浦俊一(千葉)、塩屋聰(東京)、義澤亜矢子(神奈川)、SALVINA SHARP(カナダ)、RVBEN FLORES(エクアドル)、DINU CLAUDIU(ルーマニア)、迫田英昭(京都)、DILLON ROTHMAN(南アフリカ)、HUGO BRIONES PIZARRO(チリ)、DAVID MULWA(ケニア)、亀井高(東京)、青木麗子(本部)、泉屋恵(本部)

●参段 木村忠行(宮城)、三浦大輔(宮城)、柴垣源太(大阪)、富坂泰洋(大阪)、徳野美加子(大阪)、平田忠(大阪)、渡邊昌明(静岡)、勝亦智香子(静岡)、池田忠志(静岡)、宮村尚(静岡)、松川嘉宏(静岡)、津山拓平(京都)、村井正美(京都)、山田小百合(本部)、大星学(岩手)、大澤進(栃木)、金子真司(北海道)、廣健太郎(三重)、浅井武(静岡)、BRUCE PIGGOTT(ニュージーランド)、加藤豪(東京)、今井良(長野)、鷲野弘(長野)、木村真由美(埼玉)、桑原和男(岡山)、川合義仁(愛知)、那須功(福岡)、宮田龍郎(福岡)、吉田政利(福岡)、田邊裕嗣(福岡)、白水要子(福岡)、森永美樹(大分)、中村明衣子(茨城)、牟田真也(東京)、鈴木史子(東京)、OLIVER WITTE(東京)、若林則彦(東京)、津崎拓美(京都)、安藤麻喜子(京都)、工藤英仁(青森)、中村英樹(千葉)、津幡晃徳(神奈川)、大野知才枝(岐阜)、岩倉洋子(岐阜)、馬場喜美子(岐阜)、畑佐嘉彦(岐阜)、山田一彦(富山)

アナタの側にきつといる!

JKA名物会員



泉加茂支部・郷右近郁夫先生

「極めだ。極めだ」と先生はいつも言う。

極めたいがキマラナイ。

「どうしたら極まるんでしょう?」と問うと「話して分かるのなら俺はいらないなあ」と笑顔で応えるのは、私たちが通う泉加茂支部の郷右近郁夫先生です。

この地で支部を開き30年。子供たちに空手を教え、自らにも修練を課し経てきた時間。なん

とも地道で気の遠くなる時間です。まさしく「道(タオ)の道」。週2回の支部での稽古のほか、東北工業大学空手道部監督としての指導。加えて、県事務局長としての活動。その多忙さは想像に余りあるのだけれど、還暦を過ぎてなお、フットワークが鈍る気配も感じられません。

季節の節目には、先生を囲み支部の呑み会が催されます。空手談義に華を咲かせた後は、全員でカラオケ屋さんに直行。先生の十八番は、決まって「蒙古放浪歌」。これを皆で合唱し散会となるのが泉加茂支部のお決まりのパターン。明日は稽古日。一番乗りは先生で、子供たちがやって来るのを待っているにちがいありません。そして、体育館から聞こえてくることでしょう。

「極めだ。極めだ。極めだあ!」

ってね。

★アナタの側にいる個性的な会員を紹介して下さい!

電子メールは、karate301-06@yahoo.co.jpです。



宮城県・泉加茂支部は、仙台市街から車でおよそ30分。加茂市民センターの体育館をお借りし活動しています。

〈次号2010年秋号は11月発行予定です〉

●次のテーマは、自由です。思いのまま投稿して下さい。送り先は次の通りです。
郵送/〒157-1006
東京都世田谷区北島山3-1-15
JKAニュース 川柳係
ファックス/03(33300) 8774
電子メール/karate301-06@yahoo.co.jp

一席

女子選手 カワイイ胸に
寸止めなし
(東京・サッカー選手)

特選

覚悟決め 羽目板にらむ
強い突き
(宮崎・茶帯)

今回はどんな川柳が投稿されてきたのでしょうか?

空手川柳

空手衣のヒロタ

JKAラベル

金銀ラベル:
特別仕立て空手衣、
洋八、朱子帯用

赤銀ラベル:
既製品空手衣、
並黒帯、色帯用

JKAネクタイ



JKA関連商品 (この他にも多数あります)

JKA指定拳サポーター



JKAエナメルバッグ



HIROTA
www.karategi-hirota.co.jp

確かな技術と迅速な対応で
お客様に満足して頂ける
空手衣をお届けします。
特別仕立て組手用ピナック、
型用#163も好評発売中です!

東京本社

〒144-0052

東京都大田区蒲田 5-33-6 NSビル 1F

Tel:03-3730-5366/Fax:03-3730-5336

e-mail: tokyo@karategi-hirota.co.jp

福岡支店

〒812-0018

福岡県福岡市博多区住吉 4-2-15 住四ビル

Tel:092-475-1810/Fax:092-475-1817

e-mail: fukuoka@karategi-hirota.co.jp

愛知工場

〒445-0802

愛知県西尾市米津町蓬台 16-3

Tel:0563-54-3600/Fax:0563-54-5822

社団法人
日本空手協会



指定製造元

HIROTA

MADE IN JAPAN

COTTON 100%

WASH IN COLD

WATER DRIP-DRY

DO NOT USE CO.

MMERCIAL DRYERS